

かながわ こ 子どものためのブックリスト



ま え が き

子どもの読書活動は、子どもたちが言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、創造力を豊かなものにし、人生をより深く生きる力を身に付けていくうえで欠くことのできないものです。

県教育委員会では、子どもたちの読書活動をさらに推進し、すべての子どもがそれぞれの状況に応じて、本に親しみ、自主的に読書を行えるよう、平成31年3月に「かながわ読書のススメ～第四次神奈川県子ども読書活動推進計画～」を策定し、子どもの読書活動に携わる多くの方々との連携のもと取組を進めていくこととしました。その取組のひとつがブックリストの改訂と活用です。

ブックリストの改訂にあたり、県内の幼稚園・こども園の園児、小学校の児童、中学校と高等学校の生徒の皆さんに「友だちにすすめたい好きな本」、保護者の方々に「子どもに読んでほしい本」、また、今回新たに、子ども読書活動の推進に携わっているの方々や子ども読書活動推進会議委員の方々に、「神奈川県にゆかりのある本」（神奈川県を舞台にした小説や絵本、神奈川県にまつわる民話・歴史などの本）、「『ともに生きる』につながる本」（いのちの大切さや、誰もがその人らしく暮らすことの大切さについて感じることできる本）についてアンケートを行い、延べ3,116冊の本を推薦していただきました。ブックリストでは、その中から部門ごとに推薦数上位10～20冊、合計180冊を冊子に掲載するとともに、掲載できなかった本についてはホームページで紹介していますので、読書の身近な手引きとして活用していただければ幸いです。

ブックリストを改訂するにあたり、アンケートに御協力くださった皆様、ブックリストへの表紙画像掲載に御理解・御協力くださった出版社各位に感謝申し上げます。

令和4年2月

も く じ

まえがき	1	小学校低学年の児童にすすめる本	9、10
「ブックリスト」の活用方法	2	小学校高学年の児童にすすめる本	11、12
神奈川県にゆかりのある本	3、4	中学生にすすめる本	13～16
「ともに生きる」につながる本	5、6	高校生にすすめる本	17～20
幼稚園・こども園児にすすめる本	7、8	だれもが本に親しむために	21、22

「ブックリスト」の活用方法

ブックリストの見方

ひょうし 表紙	1	しよめい さくしやとう 『書名』 (作者等) / おすすめの言葉 (出版社)	よ 日 読んだ日
	1	『はらぺこあおむし』 (エリック・カール 作/もりひさし 訳) こども園で先生に読んでもらってから大好きになりました。歌いながら読むこ とができるので、毎日口ずさんで歌っています。 (偕成社)	年 月 日

○ブックリストでは、表紙、書名、作者等、おすすめの言葉、出版社を載せています。

「おすすめの言葉」は本の推薦者からですので、選ぶときに参考にしてください。⇒ **1**

なお、本はブックリストで紹介している出版社とは別の出版社から発行されていることもあります。

○ブックリストには「読んだ日」として、本を読んだ年月日を記入する欄があります。

「読書ノート」として使い、幼稚園・こども園から高等学校まで、どのような本を読んだか記録として残してみてもいいでしょうか。⇒ **2**

○「神奈川県にゆかりのある本」(3、4ページ)、「『ともに生きる』につながる本」(5、6ページ)については、対象の目安を、書名の前に次の記号で示しています。

☆幼稚園・こども園 ○小学校低学年 □小学校高学年 ●中学校 ■高等学校

○ブックリストを見るだけでもいろいろな本に出会えます。また、友だちや家族などと一緒にすることで、コミュニケーションのきっかけにもなります。

いろいろな読書方法について

○障がいのある子どもや日本語を母語としない子どもなど、支援を必要とする子どもが本に親しめるように、いろいろな読書方法や支援機関を紹介しています。

⇒21、22 ページ「だれもが本に親しむために」

ホームページについて

○冊子に載せられなかった本は、部門ごとに書名の五十音順でホームページに掲載しています。エクセルデータですので、目的に応じて並べ替えるなどしてお使いください。

神奈川県教育委員会ホームページからダウンロードできます。

<https://www.pref.kanagawa.jp/docs/gt2/h29booklist.html>



神奈川県にゆかりのある本

ひょうし 表紙	たいしょう めやす 対象の目安 / 『書名』 (さくしゃとう 著者等) / おすすめの言葉 (ことば しゅつばんしゃ 出版社)	よ 読んだ日
	<p>☆『モノレールのたび』 (みねおみつ 作)</p> <p>かまくらし ふじさわし はし はなし でんしゃ ちが そら たび たの 鎌倉市と藤沢市を走るモノレールのお話です。電車とは違う空の旅を楽しめ ます。機会があったらぜひ乗ってみてね。 (福音館書店)</p>	年 月 日
	<p>☆『すいかのめいさんち』 (平田昌広 作/平田景 絵)</p> <p>かながわけん みうらほんとう まち ばたけ ちよくばい 神奈川県三浦半島の町がモデルになっています。すいか畑やすいかを直売し ている農家をあちこちで見られる名産地です。 (鈴木出版)</p>	年 月 日
	<p>☆『なきむしようちえん』 (長崎源之助 作/西村繁男 絵)</p> <p>よこはま う そだ さくしゃ しな い ようちえん しゅざい か あ さくひん こ 横浜で生まれ育った作者が市内の幼稚園を取材し、書き上げた作品。子ど もたちの気持ちに寄り添い、成長をあたたく見つめます。 (童心社)</p>	年 月 日
	<p>☆『からすのパンやさん』 (かこさとし 作・絵)</p> <p>ふじさわ じたく だいひょうさく みひら えが 藤沢にご自宅のあった、かこさとしさんの代表作。見開きいっぱい描かれ た楽しい、おいしそうなパンがとっても魅力的な絵本です。 (偕成社)</p>	年 月 日
	<p>○『コロボックル物語』シリーズ (佐藤さとる 作/村上勉 絵)</p> <p>しょうがっこう ねんせい なつやす ひみつ ばしょ い つた こびと 小学校3年生の夏休みに、秘密の場所で言い伝えの小人コロボックルにであ う物語。横須賀出身の作者がつづる本格ファンタジーです。 (講談社文庫)</p>	年 月 日
	<p>○『世界の科学者まるわかり図鑑』 (藤嶋昭 監修)</p> <p>かながわけん ふか ひかりばい たい ゆうめい がくしゃ ふじしませんせい 神奈川県とゆかりの深い光媒体で有名な学者である藤嶋先生が、ファラデー やアインシュタインなど約100名の科学者を紹介します。 (学研プラス)</p>	年 月 日
	<p>○『はしれ江ノ電 ひかりのなかへ』 (金子章 作/渡辺有一 絵)</p> <p>ちりょうこんなん しんぞうびょう かか しょうねん ゆめ じつわ え でんぞ うみ けしき 治療困難な心臓病を抱えた少年の夢をかなえた実話。江ノ電沿いの海の景色 と少年の想いが重なり、切ない……。 (PHP研究所)</p>	年 月 日
	<p>○『子どもの伝記18 二宮金次郎』 (木暮正夫 文)</p> <p>かんじ にはるびがふってあるので低学年でも読めると思います。立派な生き方 をした郷土の人を知ってほしいです。 (ポプラ社)</p>	年 月 日
	<p>□『新版 ガラスのうさぎ』 (高木敏子 作/武部本一郎 画)</p> <p>にのみやまち ぶたい さくしゃじしん けいけん か せんそう 二宮町が舞台の、作者自身の経験をもとに書かれたノンフィクション。戦争 がどのようなものかを知るために一度は読んでおきたい本です。 (金の星社)</p>	年 月 日
	<p>□『徳治郎とボク』 (花形みつる 著)</p> <p>きむずか とくじろう まご こころ なご きょうかしよ おし よこすか 気難しい徳治郎と孫のやりとりが心が和みます。教科書では教えない横須賀 の昔が興味深く、また祖父の懐の深い生き方に感銘を受けます。 (理論社)</p>	年 月 日

対象の目安を表す☆○□●■印については2ページをご参照ください。

ひょうし 表紙	たいしょう めやす 対象の目安 / 『書名』 (作者等) / おすすめの言葉 (出版社)	よ 読んだ日
	<p>□『10歳までに読みたい日本名作 平家物語』(弦川琢司 文/夏生 絵/加藤康子 監修) 神奈川県にもゆかりがある平家物語。当時の人々に思いを馳せながら読み味わってください。(学研)</p>	年 月 日
	<p>□『風の靴』(朽木祥 著) 受験に失敗して最悪な気分で迎えた夏休み、おじいちゃんの形見であるヨットに乗って家出を計画します。湘南の地名がたくさん。(講談社文庫)</p>	年 月 日
	<p>●『ピブリア古書堂の事件手帖』シリーズ(三上延 著) 鎌倉にある古書店の女主人が古書にまつわるミステリーを解決していくお話です。(KADOKAWA/メディアワークス文庫)</p>	年 月 日
	<p>●『風が強く吹いている』(三浦しをん 著) 箱根駅伝を舞台とした小説。予選から本番、そして、駅伝の舞台裏まで実際にみているような、手に汗握る小説です。(新潮社)</p>	年 月 日
	<p>●『きっときみに届くと信じて』(吉富多美 作) FMブルーウェーブ南条佐奈の番組にいじめ予告のメールが届きます。SOSだと気づいた佐奈はラジオから・・・。横須賀が舞台です。(金の星社)</p>	年 月 日
	<p>●『夢を持ち続けよう! ノーベル賞 根岸英一のメッセージ』(根岸英一 著) 神奈川県出身の科学者のメッセージ。アメリカの大学における研究と、ノーベル賞の受賞経緯に触れることができます。(共同通信社)</p>	年 月 日
	<p>■『一瞬の風になれ』(佐藤多佳子 著) 神奈川県立高校の陸上部が舞台となっています。3部作で長編ですが、若者の息吹が伝わり、最後まで一息に読めてしまう小説です。(講談社文庫)</p>	年 月 日
	<p>■『心に残るロングセラー 芥川龍之介名作集』(鬼塚りつ子 責任編集) 横須賀市で一時働いていた芥川龍之介。名作10選の中に、横須賀線を舞台に書いた「蜜柑」があります。解説つきです。(世界文化社)</p>	年 月 日
	<p>■『ツバキ文具店』(小川糸 著) 祖母が生前に営んでいた代筆屋。主人公が訪れる人の依頼を受ける中で、手紙に込めた人の想いや祖母の想いにふれる温かい物語です。(幻冬舎)</p>	年 月 日
	<p>■『横浜大戦争』(蜂須賀敬明 著) 横浜には18区あります。個性豊かな各区の土地神が、横浜の「中心」をめぐる戦いを繰り広げます。横浜らしさとは何か?(文春文庫)</p>	年 月 日











他の本もホームページで紹介しています。ぜひ見てください。

い ほん

『ともに生きる』につながる本

ひょうし 表紙	たいしょうめやす 対象の目安 / 『書名』 (作者等) / おすすめの言葉 (出版社)	よ 読んだ日
	<p>☆『ぐるんぱのようちえん』(西内ミナミ 作/堀内誠一 絵)</p> <p>おちこぼれの象のぐるんぱが、子どもたちの助けでみんなの人気者になるおはなし話です。(福音館書店)</p>	年 月 日
	<p>☆『タンタンタンゴはパパふたり』(ジャスティン・リチャードソン、ピーター・パーネル 文/ヘンリー・コール 絵/尾辻かな子、前田和男 訳)</p> <p>動物園で暮らすペンギンのタンゴ一家のお話です。(ポット出版)</p>	年 月 日
	<p>☆『ともだち』(谷川俊太郎 文/和田誠 絵)</p> <p>「友だちってなんだろう」「友だちっていいな」と、友だちの顔を思い浮かべながら読むことができる本です。(玉川大学出版部)</p>	年 月 日
	<p>☆『みんなからみえないブライアン』(トルディ・ラドウィック 作/パトリス・バートン 絵/さくまゆみこ 訳)</p> <p>ブライアンは自立出来ない男の子でいつもひとり。そこへ転校生が来て毎日が変わり始めます。(くもん出版)</p>	年 月 日
	<p>○『いのちのバトン』(日野原重明 詩・文/いわさきちひろ 絵)</p> <p>日野原先生とちひろさんのいのちについてのコラボです。先生の真つすぐな言葉とちひろさんの優しい絵が心を包んでくれます。(ダイヤモンド社)</p>	年 月 日
	<p>○『さっちゃんのまほうのて』(たばたせいいち、先天性四肢障害児父母の会、野辺明子、しざわさよこ 共同制作)</p> <p>手が少しみんなと違うさっちゃん。傷つきながらも、乗り越えようとしていきます。(偕成社)</p>	年 月 日
	<p>○『すすちゃんののうみそ』(竹山美奈子 文/三木葉苗 絵/宇野洋太 監修)</p> <p>自閉症について、「そういうことだったのか」と理解でき、共に生きる喜びを感じることができます。(岩崎書店)</p>	年 月 日
	<p>○『しらすどん』(最勝寺朋子 作・絵)</p> <p>温かみのあるきれいなイラストと主人公の旅をとおして、小さなシラスにも宿る命の輝きを感じられます。(岩崎書店)</p>	年 月 日
	<p>□『みんなのバリアフリー(3)みんなでできるバリアフリー活動』(徳田克己 監修)</p> <p>障がいがあつて困っている人にどんなことができる? 障がいのある人をサポートする方法をイラストなどを交えて紹介しています。(あかね書房)</p>	年 月 日
	<p>□『やっぱりおおかみ』(ささきまき 作・絵)</p> <p>自分を受け入れ、生きていく。そこにたどり着くおおかみのお話。絵本で文字は少ないですが、いろいろなことを語りかけてくれます。(福音館書店)</p>	年 月 日

対象の目安を表す☆○□●■印については2ページをご参照ください。

ひょうし 表紙	たいしょう めやす 対象の目安 / 『書名』 (作者等) / おすすめの言葉 (出版社)	よ 読んだ 日
	<p>□ 『ランカ にほんにやってきたおんなのこ』 (野呂きくえ 作/松成真理子 絵) <small>とお くに き にほん しょうがっこう かよ はじ さい おんな こ</small> ランカは遠い国からやって来て、日本の小学校に通い始めた10歳の女の子です。<small>ことば とまど ひ</small>言葉もわからず戸惑うランカはある日……。 (偕成社)</p>	年 月 日
	<p>□ 『みんなちがってみんなステキ LGBTの子どもたちに届けたい未来』 (高橋うらら 著/認定特定非営利活動法人ReBit 監修) ReBitのメンバー <small>にん こ</small>8人が子どもにもわかりやすくLGBTについて語ります。 (新日本出版社)</p>	年 月 日
	<p>● 『Wonder ワンダー』 (R・J・パラシオ 作/中井はるの 訳) <small>かお しょう みんな み め ちが さい しゅじんこう さべつ けつ</small> 顔に障がいがあり、皆と見た目が違う10歳の主人公。差別されても決してく <small>つよ こころ たにん そんちよう まな</small> じけない強い心と他人を尊重することを学んでほしいです。 (ほるぷ出版)</p>	年 月 日
	<p>● 『大家さんと僕』 シリーズ (矢部太郎 著) <small>だい おおや く ちよしゃ せんそう お</small> 80代の大家さんと暮らすことで、著者は戦争や老いについて知っていきま <small>よ</small> す。ユーモアがあって読みやすいです。 (新潮社)</p>	年 月 日
	<p>● 『風をつかまえた少年 14歳だったぼくはたったひとりで風力発電をつくった』 (ウィリアム・カムクワンバ、ブライアン・ミーラー 著/田口俊樹 訳) <small>がくひ はら</small> 学費を払 <small>たいがく しょうねん ほん たよ ふりょくはつでん つく</small> えず退学になった少年が本を頼りに風力発電を作ります。 (文春文庫)</p>	年 月 日
	<p>● 『西の魔女が死んだ』 (梨木香歩 著) <small>ちよっと いきぐる かん</small> ちよっと息苦しいなと感じた <small>ほん まじよ き</small> ら、この本の魔女に聞いてもらいたいかもしれません。こんな人がそばに <small>おも はなし</small> いたらいいと思わずにいられないお話です。 (新潮社)</p>	年 月 日
	<p>■ 『君たちはどう生きるか』 (吉野源三郎 著) <small>ねん はっこう よ つ ねん まんが ほん しゅつばん</small> 1937年に発行されてから読み継がれており、2018年には漫画版が出版され てベストセラーになりました。イチオシです！ (マガジンハウス)</p>	年 月 日
	<p>■ 『ペーパーボーイ』 (ヴィンス・ヴォーダー 作/原田勝 訳) <small>きつおん しょうねん せいちょう ものがたり ねんだい しゃかいもんだい ふく よ</small> 吃音のある少年が成長する物語。1960年代のアメリカの社会問題も含め、読 みごたえがあります。 (岩波書店)</p>	年 月 日
	<p>■ 『いきのびる魔法—いじめられている君へ—』 (西原理恵子 著) <small>い じぶん し えら</small> とにかく生きていてほしい。自分から死を選ばないで！ (小学館)</p>	年 月 日
	<p>■ 『ぼくはイエローでホワイトで、ちょっとブルー』 (レイディみかこ 著) <small>く かよ こうりつちゅうがっこう ぶたい じんしゅ かいきゅう</small> イギリスに暮らす「ぼく」が通う公立中学校を舞台に人種、階級、ジェン <small>お さまざま もんだい</small> ダーなどから起こる様々な問題をつづるノンフィクションです。 (新潮社)</p>	年 月 日

ほか ほん も ホームページで紹介しています。ぜひ見てください。

ひょうし 表紙	『書名』(作者等) / おすすめの言葉(出版社)	よ 読んだ 日
	『はらぺこあおむし』(エリック・カール 作/もりひさし 訳) こども園で先生に読んでもらってから大好きになりました。歌いながら読むことができるので、毎日口ずさんで歌っています。(偕成社)	年 月 日
	『へんしん』シリーズ(あきやまただし 作・絵) 『へんしんトンネル』シリーズは、トンネルをくぐると言葉が変身するところが面白い。みんなで声に出して読むのが楽しいお話です。(金の星社)	年 月 日
	『14ひき』シリーズ(いわむらかずお 作) ねずみのきょうだいたちが、けんかしたり、遊んだりしているところがとてもおもしろいです。(童心社)	年 月 日
	『そらまめくん』シリーズ(なかやみわ 作) そらまめくんがかわいくて、お話がおもしろくて楽しいです。寝ているそらまめくんがかわいいです。(小学館)	年 月 日
	『バムとケロのおかいもの』(島田ゆか 作・絵) バムとケロのシリーズはどれもおもしろくてかわいいです。いろいろなできごとにドキドキワクワクして大好きです。(文溪堂)	年 月 日
	『ぐりとぐら』シリーズ(なかがわりえこ 作/おおむらゆりこ 絵) 絵がかわいくて好きです。ぐりとぐらがいろいろなことをするのも楽しみでワクワクします。(福音館書店)	年 月 日
	『くれよんのくろくん』シリーズ(なかやみわ 作・絵) くれよんの仲間たちが白い画用紙に絵を描きますが、くろくんだけ黒くされたら困ると仲間はずれ。でも、黒色も大切と気づくお話です。(童心社)	年 月 日
	『ミッケ!』シリーズ(ウォルター・ウィック 写真/ジーン・マルゾーロ 文/糸井重里 訳) 写真の中からいろいろなものを見つけるのがとても楽しいです。(小学館)	年 月 日
	『あさえとちいさいもうと』(筒井頼子 作/林明子 絵) 迷子になった妹のあやちゃんを見つけたとき、砂遊びで手が真っ黒になっているところが面白かったです。(福音館書店)	年 月 日
	『オレ、カエルやめるや』(デヴ・ペティ 文/マイク・ポルト 絵/小林賢太郎 訳) 絵とお話が面白くて、大好きです。何回も読んでほしいです。(マイクロマガジン社)	年 月 日

ひょうじ 表紙	『書名』 (作者等) / おすすめの言葉 (出版社)	よんだ日
	『ぐりとぐら』シリーズ (なかがわりえこ 作/おおむらゆりこ 絵) 「ぐり、ぐら、ぐり、ぐら」と歌うように森の中を歩きながら、小さな物を見つれたり大きなことを考えたりと楽しい一冊です。(福音館書店)	年 月 日
	『くれよんのくろくん』シリーズ (なかやみわ 作・絵) みんなと仲良くすることや、素直に謝ることの大切さを学べてよい絵本だと思えます。(童心社)	年 月 日
	『どうぞのいす』 (香山美子 作/柿本幸造 絵) だれかのためにいすを作り、使った動物がお礼にどんぐりを置く。思いやりの連鎖がずっと続いていくのに感動しました。(ひさかたチャイルド)	年 月 日
	『はじめてのおつかい』 (筒井頼子 作/林明子 絵) みいちゃんと共に冒険する気持ちで、ドキドキしながら読みました。絵本の風景は懐かしく、子どもには新鮮で親子で楽しんでいます。(福音館書店)	年 月 日
	『はらぺこあおむし』 (エリック・カール 作/もりひさし 訳) 色づかいがきれいで、本の中のしかけも楽しくて、数を数えたりしてリズムよく楽しく読めるのでおすすめです。(偕成社)	年 月 日
	『100かいだてのいえ』シリーズ (いわいとしお 作) 子どもたちが何回も読んでほしいという絵本で、いろいろな生き物や動物たちのユニークな家の中を探検でき、親子で楽しめます。(偕成社)	年 月 日
	『14ひき』シリーズ (いわむらかずお 作) ねずみの家族が住んでいるいえのつくりや、細かい道具を見ているとワクワクしてきます。親子の会話がはずむ絵本です。(童心社)	年 月 日
	『ちよっとだけ』 (瀧村有子 作/鈴木永子 絵) 弟ができたことで、子どもの中で起きた気持ちの変化。たくさん頑張ろうとします。でもママに甘えたい。ママとハグする姿に癒されます。(福音館書店)	年 月 日
	『どんぐりむら』シリーズ (なかやみわ 作・絵) どのページもたくさんのどんぐりたちが細かく描き込まれていて、子どもと一緒に本の世界に入ってしまう、お気に入りの一冊です。(学研)	年 月 日
	『ふたりはともだち』シリーズ (アーノルドローベル 作/三木卓 訳) がまくんとかえるくん、親友同士の二人がお互いを思いやる気持ちが素敵です。ユニークな二人のほのぼのとした日常が面白いです。(文化出版局)	年 月 日

ほかの本もホームページで紹介しています。ぜひ見てください。

ひょうし 表紙	『書名』 (作者等) / おすすめの言葉 (出版社)	よ 読んだ日
	<p>『かいけつゾロリ』シリーズ (原ゆたか 作・絵) キツネのゾロリが、弟子のイシシとノシシを連れていろいろな所を旅します。旅をするごとに仲間も増えて面白い! (ポプラ社)</p>	年 月 日
	<p>『おしりたんてい』シリーズ (トルロ 作・絵) 主人公のおしりたんていは、どんな事件もおならで解決してしまいます。シリーズのどのお話も楽しいです。 (ポプラ社)</p>	年 月 日
	<p>『ルルとララのおかしやさん』シリーズ (あんびるやすこ 作・絵) ルルとララがおかしを作ったり、友だちを元気づけたりするお話です。この本を読むと心が温まります。 (岩崎書店)</p>	年 月 日
	<p>『りんごかもしれない』 (ヨシタケシンスケ 作) ある日、学校から帰るとテーブルの上にりんごが!? 主人公がいろいろなことを想像します! ぜひ読んでみてください。 (ブロンズ新社)</p>	年 月 日
	<p>『ノラネコぐんだん』シリーズ (工藤ノリコ 著) ノラネコぐんだんは、いたずら好きのネコたちです。ノラネコぐんだんがかわいいのでおススメです! (白泉社)</p>	年 月 日
	<p>『ふしぎ駄菓子屋銭天堂』シリーズ (廣嶋玲子 作/jyajya 絵) 幸運な人だけがたどり着ける銭天堂には不思議な駄菓子がたくさんあり、駄菓子で幸か不幸に……。ドキドキする本です。 (偕成社)</p>	年 月 日
	<p>『ふまんがあります』 (ヨシタケシンスケ 作・絵) これは子どもの不満に、その親が答えていくお話で、子どもの不満や大人の答えなど、共感しながら読めます。 (PHP研究所)</p>	年 月 日
	<p>『ほねほねザウルス』シリーズ (ぐるーぶ・アンモナイツ 作・絵 / カバヤ食品株式会社 原案・監修) ベビーとトップスとゴンちゃんが、ほねほね七不思議を解く冒険のお話です。 (岩崎書店)</p>	年 月 日
	<p>『ミッケ!』シリーズ (ウォルター・ウィック 写真/ジーン・マルゾーロ 文 / 糸井重里 訳) この本にはいろいろな物が隠されています。みんなでだれがいちばん早く探せるかななどで遊べて面白いです。 (小学館)</p>	年 月 日
	<p>『へんしん』シリーズ (あきやまただし 作・絵) 同じことばを続けて言っていくと、だんだんと違うことばになっていく。ことば遊びのようでとても面白い本です。 (金の星社)</p>	年 月 日

ひょうし 表紙	『書名』 (作者等) / おすすめの言葉 (出版社)	よ 読んだ日
	『エルマーのぼうけん』シリーズ(ルース・スタイルス・ガネット 作/わたなべしげお 訳/ルース・クリスマス・ガネット 絵) 知恵と勇気をもって冒険に出るエルマー少年。ドキドキ、ワクワクがいっぱいの物語です。(福音館書店)	年 月 日
	『ふたりはともだち』シリーズ (アーノルドローベル 作/三木卓 訳) がまくんとかえるくんのやりとりは、読むたびに心がじんわりと優しくなります。ともだちってどんなものか考えるきっかけになります。(文化出版局)	年 月 日
	『りんごかもしれない』 (ヨシタケシンスケ 作) よんであげる大人も楽しい本です。読み終わったら子どもと一緒に「～かもしれない」と遊びたくなる本です。(ブロンズ新社)	年 月 日
	『あらしのよるに』 (きむらゆういち 作/あべ弘士 絵) あらしのよるに暗い小屋で出会ったオオカミとヤギが、相手が誰だかわからないまま、仲良くなっていくお話です。(講談社文庫)	年 月 日
	『おこだでませんように』 (くすのきしげのり 作/石井聖岳 絵) いつも怒られてばかりの男の子の心の動きが丁寧に描かれています。七夕の短冊に書いた男の子の願いに、はっとさせられます。(小学館)	年 月 日
	『おもしろい! 進化のふしぎ ざんねないきもの事典』シリーズ (今泉忠明 監修/下間文恵、徳永明子、かわむらふゆみ イラスト) イラストもかわいくて読みやすく、「ざんねん」な所になぜか愛着がわいてきます。(高橋書店)	年 月 日
	『まほうのじどうはんばいき』シリーズ(やまだともこ 作/いとうみき 絵) とにかく面白い、ワクワクするような楽しい内容です。前向きな気持ちにさせてくれます。お気に入りの一冊になりますよ。(金の星社)	年 月 日
	『ラチとらいおん』 (マレーク・ベロニカ 文・絵/とくながやすもと 訳) 弱虫な男の子がちびライオンに出逢って、いろいろな挑戦をして成長していくお話。絵もかわいらしくておススメです! (福音館書店)	年 月 日
	『ともだちや』 (内田麟太郎 作/降矢なな 絵) 1時間100円でともだちやをキツネが始めます。本当のともだちとは何かを考えさせてくれるお話です。(偕成社)	年 月 日
	『はれときどきぶた』 (矢玉四郎 作・絵) 明日の日記に書いたことが現実になるとしたら、あなたは何かを書きますか? 主人公の僕が書いたことが面白いので読んでみてください。(岩崎書店)	年 月 日

ほか ほん ホームページで紹介しています。ぜひ見てください。

ひょうし 表紙	『書名』 (作者等) / おすすめの言葉 (出版社)	よ 読 ん だ 日
	『ふしぎ駄菓子屋銭天堂』シリーズ (廣嶋玲子 作/jyajya 絵) いろいろな効用のあるお菓子。間違った食べ方をするととんでもないこと に……。不思議でちょっと怖いお話です。 (偕成社)	年 月 日
	『5分後に意外な結末』シリーズ (学研教育出版 編) ちょっと時間があるときに読みたい本です。1～3ページめくると意外な結 末になっていてびっくりするのであつという間に読めます。 (学研プラス)	年 月 日
	『ハリー・ポッター』シリーズ (J.K.ローリング 作/松岡佑子 訳) 主人公のハリーがホグワーツであらゆる敵に立ち向かっていきます。その勇 気があるところを尊敬します。 (静山社)	年 月 日
	『グレグのダメ日記』シリーズ (ジェフ・キニー 作/中井はるの 訳) グレグのダメダメでトラブルだらけだけど面白い日常をご覧あれ。思わず 笑ってしまうことまちがいなしです。 (ポプラ社)	年 月 日
	『ジュニア空想科学読本』シリーズ (柳田理科雄 作/藤嶋マル 絵) みんなが知っているマンガやアニメの「こんなのできないじゃん」というこ とを科学的に解明しています。 (KADOKAWA/角川つばさ文庫)	年 月 日
	『怪盗レッド』シリーズ (秋本真 著) 主人公たちが怪盗レッドとなり、運動能力と天才の組合せで、いろいろ守る 怪盗として活躍するお話です。 (KADOKAWA/角川つばさ文庫)	年 月 日
	『なぜ? どうして? 科学のお話』シリーズ (大山光晴 監修) この本は身の回りのものの仕組みや疑問に思ったことが書かれていて、いろ いろなことを知ることができる本です。 (学研プラス)	年 月 日
	『星のカービィ』シリーズ (高瀬美恵 作/苺野タウ・ほと 絵) 主人公カービィと友だちワドルディとの友情が描かれています。最後まであ きらめずに戦う姿に感動しました。 (KADOKAWA/角川つばさ文庫)	年 月 日
	『小説 名探偵コナン』シリーズ (土屋つかさ 著/青山剛昌 原作・イラスト) コナンが行く様々な場所で事件が起き、それを次々に解決するのが面白いで す。 (小学館)	年 月 日
	『四つ子ぐらし』 (ひのひまり 作/佐倉おりこ 絵) 別々の施設に預けられていた四つ子の中学生。自立の練習で四つ子の姉妹だ けで暮らすことになるのですが…。 (KADOKAWA/角川つばさ文庫)	年 月 日

ひょうし 表紙	『書名』(作者等) / おすすめの言葉 (出版社)	よんだひ 読んだ日
	『ふしぎ駄菓子屋銭天堂』シリーズ (廣嶋玲子 作/jyajya 絵) ぜにてんどう じぶん ねが だがし お た ふしぎ 銭天堂には自分の願いにあわせた駄菓子が置いてあり、食べると不思議な お こう ふこう おとず とが起こります。幸か不幸か、どちらが訪れるでしょう？ (偕成社)	年 月 日
	『ぼくらの七日間戦争』(宗田理 著) 横暴な先生や大人たちに抵抗する はいこうじょう た なかま きょうりよく わる おとな ものがたり ため、廃工場に立てこもり、仲間と協力して悪い大人たちをこらしめる物語 です。(KADOKAWA/角川つばさ文庫)	年 月 日
	『バッテリー』(あさのあつこ 作/佐藤真紀子 絵) やきゅう こ かんじょういにゆう むちゅう ものがたり 野球をやっていない子どもでも感情移入しやすく、夢中になります。物語の つづ き よ 続きが気になって、さくさく読めてしまいます。(教育画劇)	年 月 日
	『モモ』(ミヒヤエル・エンデ 作/大島かおり 訳) じかん ひま おとな こ じかん た 時間がない、暇がない。大人ばかりでなく子どもまでも。なぜ時間は足りな くなってしまったのでしょうか。時間とはなんでしょう。(岩波少年文庫)	年 月 日
	『ルドルフとイッパイアッテナ』(斉藤洋 作/杉浦範茂 絵) しょめい み おも よ すす たの 書名を見てなんだろうと思います。読み進めるごとにすごく楽しくなってい きます。泣いたり笑ったりと飽きずに読めると思います。(講談社)	年 月 日
	『チョコレート工場の秘密』(ロアルド・ダール 作/クエンティン・ブレイク 絵/柳瀬尚紀 訳) ファンタジーですが、自分にとって最も大切なもの、ゆず れないものは何か、考えさせられるお話です。(評論社)	年 月 日
	『窓ぎわのトットちゃん 新組版』(黒柳徹子 著) くるやなぎてつこ しょうがくせいじたい はなし てんこうさき しょうがっこう じゅう きょういく 黒柳徹子さんの小学生時代のお話。転校先の小学校の自由な教育でのびのび す まな えがお 過ごし、学ぶトットちゃんに笑顔になりました。(講談社文庫)	年 月 日
	『冒険者たち ガンバと15ひきの仲間』(斎藤惇夫 作/荻内正幸 画) ゆうじょうせい し よ はじ ものがたり ひ こ ね ま お 友情や生と死、読み始めるとどんどん物語に引き込まれ、寝る間も惜しいほ おもしろ しれん の こ すがた こころ ふる どに面白く、試練を乗り越えていく姿に心が震えます！(岩波少年文庫)	年 月 日
	『大どろぼうホッツェンプロッツ』シリーズ (オトフリート・プロイスラー 作/中村浩三 訳) 子どもが大どろぼうをやっつけるお話です。ドキドキ と しまらない まほう ようせい で が止まらない、魔法や妖精も出てくるファンタジーです。(偕成社)	年 月 日
	『霧のむこうのふしぎな町』(柏葉幸子 著/杉田比呂美 絵) ひとりでやってみたいけれど、ちょっぴり不安。でも、チャレンジしてみる こといろいろなきに気づかされていくお話です。(講談社青い鳥文庫)	年 月 日

ほか ほん しょうがい
 他の本もホームページで紹介しています。ぜひ見てください。

友だちにすすめたい好きな本

ひょうし 表紙	『書名』(作者等) / おすすめの言葉(出版社)	よ 読んだ日
	<p>『5分後に意外な結末』シリーズ (学研教育出版 編)</p> <p>ひとつの話が3~4ページで終わる短編小説なので読みやすかったです。発想がすごく、ワクワクしながら読めました。(学研プラス)</p>	<p>年 月 日</p>
	<p>『かがみの孤城』(辻村深月 著) 普通の中学生に起きた不登校と奇怪ファンタジー。現実世界の不安、恐怖。時空を超えた仲間との絆。「生きて。」力強い言葉が胸に響きます。(ポプラ社)</p>	<p>年 月 日</p>
	<p>『青鬼』公式ノベルシリーズ (noprops 原作/黒田研二 著/鈴羅木かりん 挿画) これは、ジェイルハウスに潜む怪物「青鬼」に立ち向かっていく6人の男女のストーリーです。(PHP研究所)</p>	<p>年 月 日</p>
	<p>『ぼくらの七日間戦争』(宗田理 著) 同世代の中学生が悪い大人たちに立ち向かいます。中学生が夏休みに大人と七日間戦いをくり広げる中、仲間の一人が・・・。(KADOKAWA/角川つばさ文庫)</p>	<p>年 月 日</p>
	<p>『Re:ゼロから始める異世界生活』シリーズ (長月達平 著/大塚真一郎 イラスト) 異世界へ飛ばされ何度も同じ時を繰り返す中、困難を乗り越えて成長する主人公。応援したくなります。(KADOKAWA/MF文庫J)</p>	<p>年 月 日</p>
	<p>『カラフル』(森絵都 著) 人にはたくさんの感情があり、人はたくさんの色をもっています。例えば、悲しいという感情も人によって色は違います。そんな本です。(文春文庫)</p>	<p>年 月 日</p>
	<p>『こちらパーティー編集部!!』シリーズ (深海ゆずは 作/榎木りか 絵) ゆのはハイパー元気だけど運動も勉強も苦手。そんなゆのの夢は「幻の雑誌」の復活! ゆのの夢の行方は!? (KADOKAWA/角川つばさ文庫)</p>	<p>年 月 日</p>
	<p>『ブレイブ・ストーリー』(宮部みゆき 著) 理不尽な現実を変えたいと願う少年が異世界へ行き、そこで出会う様々な人々と共に成長するストーリーが魅力的です。(KADOKAWA/角川文庫)</p>	<p>年 月 日</p>
	<p>『天久鷹央』シリーズ (知念実希人 著) 鷹央の普段の自由気ままな姿と、謎を解くときのギャップがカッコいいです。(新潮社)</p>	<p>年 月 日</p>
	<p>『推し、燃ゆ』(宇佐見りん 著) 推しに人生をかける主人公。推しがファンを殴った事実を受けとめても、自分の人生と現実の辛さに向き合う主人公が描かれるお話です。(河出書房新社)</p>	<p>年 月 日</p>

ひょうし 表紙	『書名』 (作者等) / おすすめの言葉 (出版社)	よ 読んだ日
	<p>きりしま ぶかつ 『桐島、部活やめるってよ』 (朝井リョウ 著)</p> <p>いろいろな事情を抱えた高校生たちの悩みを解消していく物語です。高校生たちの悩みが重すぎて、自分の悩みを忘れられます。 (集英社文庫)</p>	年 月 日
	<p>くすりや 『薬屋のひとりごと』 (日向夏 著)</p> <p>主人公のわかりやすい推理と、あとになって少し前の事件とつながるところが面白く、一つ一つの話が分かれていて読みやすい本です。 (主婦の友社)</p>	年 月 日
	<p>ぜんしゅう 『シャーロック=ホームズ全集』 (コナン・ドイル 作/各務三郎 訳)</p> <p>有名な探偵ものです。事件にはドキドキするし、ホームズの推理にはしびれます。名前を知っていても、読んだことのない人も多いのでは? (偕成社)</p>	年 月 日
	<p>すいぶ 『吹部!』 (赤澤竜也 著) 教師らしからぬミタセンが顧問になった弱小吹奏楽部が、ぶつかり合いながらも一つになり、全国大会をめざす爽やか青春小説です。 (KADOKAWA/角川文庫)</p>	年 月 日
	<p>『ソードアート・オンライン』シリーズ (川原礫 著/a b e c イラスト)</p> <p>いろいろな世界で時には必死に、時には楽しく、時には命を懸けて戦ったり攻略したりする本です。ぜひ読んでください! (KADOKAWA/電撃文庫)</p>	年 月 日
	<p>かみさま おし 『ディズニー おもてなしの神様が教えてくれたこと』 (鎌田洋 著)</p> <p>実際にキャストがゲストにどのように接しているかがわかりました。短いストーリーが集まっているので読みやすいです。 (SB Creative)</p>	年 月 日
	<p>てんごく いぬ 『天国の犬ものがたり』シリーズ (藤咲あゆな 著/堀田敦子 原作/環方このみ イラスト) 人と犬の暮らしなどを書いた、感動して、心温まる本です。私はこのシリーズが大好きで、いつも元気をもらっています。 (小学館)</p>	年 月 日
	<p>てんごく にちかん 『天国までの49日間』 (櫻井千姫 著) 人は誰もいつかは死んでしまふ。人間の一生は死んで終わりではなく、天国に行くか地獄に行くのかは、自分自身で決めることなのです。 (スターツ出版)</p>	年 月 日
	<p>ぼく えいえん ぜんぶ 『僕の永遠を全部あげる』 (汐見夏衛 作/ふすい 絵)</p> <p>顔にアザがあり、暗い性格の千花。そんな千花と仲良くなりたいという謎の少年。途中切なく、だけど温かい青春ストーリーです。 (一迅社)</p>	年 月 日
	<p>ぼく じょうず 『僕は上手にしゃべれない』 (椎野直弥 著)</p> <p>この本は、吃音症の主人公が弁論大会に出場し、話すことに抵抗を感じなくなっていく本です。 (ポプラ社)</p>	年 月 日

ほかの本もホームページで紹介しています。ぜひ見てください。

ちゅうがっこう
中学校

こ よ ほん
子どもに読んでほしい本

ひょうし 表紙	『書名』(作者等) / おすすめの言葉 (出版社)	よ 読んだ日
	『アルジャーノンに花束を【新版】』(ダニエル・キイス 著/小尾美佐 訳) ようじ な ちのう じっけんてきしゅじゅつ ちのう え 幼児並みの知能しかないチャーリーが実験的な手術により知能を得ていく。 ち ひと しあわ ほんやく すば あじ 知は人を幸せにするのか。翻訳の素晴らしさも味わえます。(早川書房)	年 月 日
	『かがみの孤城』(辻村深月 著) 学校で居場所をなくした主人公が、鏡 なか にん しょうねん しょうじょ ねが かな かぎ さが すべ の中で6人の少年・少女と願いを叶える鍵を探す。全てがわかるラストでは むね あつ かんどうさく 胸が熱くなる感動作です。(ポプラ社)	年 月 日
	『なぜ僕らは働くのか』(池上彰 監修/佳奈 漫画/モドロカ 画) べんきょう はたら いま みちい じぶん なぜ勉強するのか、働くとはどういうことなのか。今、未来の自分のために なに かんが おも 何をしたらいいかを考えるきっかけになると思います。(学研プラス)	年 月 日
	『博士の愛した数式』(小川洋子 著) すうがく うつく みりょく ひじょう ま おも つ さく 「数学の美しさ、魅力」と、非常に真っすぐな「思いやり」が詰められた作 ひん すうがく にがて いしき ひと いっさつ 品です。数学に苦手意識がある人にもおすすめの1冊です。(新潮社)	年 月 日
	『ぼくはイエローでホワイトで、ちょっとブルー』(ブレイディみかこ 著) えいこく く ちゅうがくせい せいかつ じんしゅさべつ とう まいにち じけん 英国で暮らす中学生「ぼく」の生活は人種差別やジェンダー等、毎日が事件 れんぞく おどろ かんが ほん の連続です。驚き、考えさせられるノンフィクション本です。(新潮社)	年 月 日
	『モモ』(ミヒヤエル・エンデ 作/大島かおり 訳) じかん ぬす しょうじょ ふ しぎ そうぞうりよく いま い ものがたり 時間どろぼうと盗まれた少女の不思議、想像力。今をどう生きるかの物語で す。(岩波少年文庫)	年 月 日
	『14歳の君へ どう考えどう生きるか』(池田晶子 著) なら まえ じぶん さが かんが ほんとう どうとく ちゅうがくせい みちか わだい じん 習うより前に、自分で探し考えたい本当の道徳。中学生の身近な話題から人 げん こころ おく 間の心の奥にせまります。(毎日新聞出版)	年 月 日
	『あと少し、もう少し』(瀬尾まい子 著) よ あつ じん たすき ちゅうがっこうせいかつさいご えきでんたいかい おも 寄せ集めの6人が襷をつなぐ中学校生活最後の駅伝大会。それぞれの想いと みまも せんせい ことば むね あつ それを見守る先生の言葉に胸が熱くなります。(新潮社)	年 月 日
	『風が強く吹いている』(三浦しをん 著) えきでん はし がくせい い せかい し かんどう しょうがつ ほこねえきでん 駅伝を走る学生たちの生きる世界を知り、感動しました。お正月の箱根駅伝 じゅんい み してん か きょうみ を順位しか見ていなかった視点が変わり、興味をもちました。(新潮社)	年 月 日
	『カラフル』(森絵都 著) じぶん じぶん お ししゅんき こ じぶん 「自分にはない自分」をテーマに置きながらも、思春期の子どもがどう自分 いろ だ か すすき しょうせつ の色を出していくのかを書いている素敵なお話です。(文春文庫)	年 月 日

ひょうし 表紙	『書名』 (作者等) / おすすめの言葉 (出版社)	よ 読んだ日
	『きみの友だち』 (重松清 著) 本書を読み終えて、自分にはちゃんと「友だち」と呼べる人がいることに気が付きホッとすると同時に、その存在に改めて感謝しました。(新潮社)	年 月 日
	『新編 銀河鉄道の夜』 (宮沢賢治 著) ジョバンニとカムパネルラの鉄道の旅で、本当の幸せとは何かを探すことの大切さと命の重みを感じました。(新潮社)	年 月 日
	『三国志』 (吉川英治 著/士林誠 イラスト) 中国の三国時代に世の中の乱れを憂いた青年たちが天下泰平という大志を抱き、群雄割拠する一大スペクタクルに自分も触発されました。(星海社)	年 月 日
	『夏の庭 - The Friends -』 (湯本香樹実 著) 少年たちはある老人の死にゆく姿を見たかった。好奇心から始まった少年たちと老人との交流は思いがけず温かい優しい日々へと続きます。(新潮社)	年 月 日
	『ハリー・ポッター』シリーズ (J.K.ローリング 作/松岡佑子 訳) 1990年のイギリスが舞台で、魔法使いが存在する世界の物語。孤独な主人公が友情・仲間・家族愛などにふれながら成長していきます。(静山社)	年 月 日
	『ひと』 (小野寺史宜 著) ひととひととの出会いの奇跡、つながりの温かさを感じられる、何気ない毎日大切に過ごしたくなる心に響く物語です。(祥伝社)	年 月 日
	『陸王』 (池井戸潤 著) 老舗足袋店である「こはげ屋」が経営困難に陥ってしまいます。様々な出来事が起こりますが、テンポよく、夢に向かっていく姿に共感できます。(集英社文庫)	年 月 日
	『蜜蜂と遠雷』 (恩田陸 著) ピアノコンクール優勝をめざし、奮闘するピアニストたちの姿に引き込まれました。実際にピアノを聴いているような描写が素敵です。(幻冬舎)	年 月 日
	『紛争地の看護師』 (白川優子 著) 「誰かに伝えたいと思った。知ってもらいたいと思った。」国境なき医師団の看護師として紛争地で活動する作者の言葉が胸に響きます。(小学館)	年 月 日
	『逆ソクラテス』 (伊坂幸太郎 著) 5つの短編集、主人公は小学生。「敵は先入観。世界をひっくり返せ！」心に響くフレーズがあふれています。力をもらえる一冊です。(集英社)	年 月 日

ほかの本もホームページで紹介しています。ぜひ見てください。

ひょうし 表紙	『書名』 (作者等) / おすすめの言葉 (出版社)	よんだ 日
	『君の臍臓をたべたい』 (住野よる 著) 主人公と余命わずかな少女の出会いと交流。そして、終盤のとある展開に、「命」について深く考えさせられました。(双葉社)	年 月 日
	『Re:ゼロから始める異世界生活』シリーズ (長月達平 著/大塚真一郎 イラスト) 死ぬと過去に戻ることができる能力「死に戻り」を使って異世界で出会った少女を死の運命から救う物語。(KADOKAWA/MF文庫)	年 月 日
	『かがみの孤城』 (辻村深月 著) 生きづらさを感じているすべての人に贈る物語。読み終えたとたん、あなたの景色が変わりだす。(ポプラ社)	年 月 日
	『獣の奏者』 (上橋菜穂子 著) 決して近づきすぎてはいけない獣に、一心に向き合う主人公エリンの姿にとっても感動する作品です。(講談社文庫)	年 月 日
	『天久鷹央』シリーズ (知念実希人 著) あり得ないような出来事、身体の不調。そんな不可解なことを天才医師天久鷹央が診断します。実際にも起こり得る医療ミステリーです。(新潮社)	年 月 日
	『僕のヒーローアカデミア』ノベライズシリーズ (堀越耕平 原作・総監督・キャラクター原案/小川慧 著/黒田洋介 脚本) ヒーロー学校に通う生徒たちの日々を笑って泣けて感動できる作品です。(集英社みらい文庫)	年 月 日
	『小説名探偵コナン』シリーズ (土屋つかさ 著/青山剛昌 原作・イラスト) アニメの中で一番コナンが好きで、頭の回転がすぐくて何もかもがカッコよく、可愛い部分もあって、ぜひ読んでほしいと思います。(小学館)	年 月 日
	『いなくなれ、群青』 (河野裕 著) 階段島シリーズの第1作。シリーズをとおして、高校生らしい葛藤や感情の表現が特徴の素敵な作品です。(新潮社)	年 月 日
	『推し、燃ゆ』 (宇佐見りん 著) 芸能人を「推すこと」と「好きで応援すること」の違いを考えることができ、「病み」やすい高校生が主人公に共感できるかもしれない本。(河出書房新社)	年 月 日
	『キノの旅 the Beautiful World』シリーズ (時雨沢恵一 著/黒星紅白 イラスト) 小説の魅力をも最大限に生かした描写と登場人物のセリフが胸に刺さります。(KADOKAWA/電撃文庫)	年 月 日

ひょうし 表紙	『書名』 (作者等) / おすすめの言葉 (出版社)	よ 読んだ 日
	<p>『鬼滅の刃』ノベライズシリーズ (吾峠呼世晴 原作・絵/松田朱夏 著)</p> <p>兄弟のきずなやストーリー、鬼も悲しい過去を背負っているなど、細部まで作りこまれていて面白いです。 (集英社みらい文庫)</p>	年 月 日
	<p>『銀河英雄伝説』 (田中芳樹 著)</p> <p>ひたすら上をめざす孤高の存在である主人公の野心や生きざまに心惹かれる本です。 (東京創元社)</p>	年 月 日
	<p>『精霊の守り人 (守り人シリーズ)』 (上橋菜穂子 著)</p> <p>美しい日本語が印象的な「守り人」シリーズ。子どもから大人まで幅広い世代に愛される長編ファンタジーです。 (新潮社)</p>	年 月 日
	<p>『ソードアート・オンライン』シリーズ (川原礫 著/abec イラスト)</p> <p>デスゲームとなった「ソードアート・オンライン」でクリアを目指す「黒の剣士」キリトの活躍を描く物語。 (KADOKAWA/電撃文庫)</p>	年 月 日
	<p>『チェンソーマン バディ・ストーリーズ』 (藤本タツキ 原作/夙川さかく 小説)</p> <p>とにかくグロくて、でもカッコいいので、グロカッコいい話が好きな人にはおすすめです。 (集英社 JUMP j BOOKS)</p>	年 月 日
	<p>『人間失格』 (太宰治 著/©2016 朝霧カフカ・春河35/KADOKAWA /文豪ストレイドッグス製作委員会)</p> <p>作者自身の独特な世界観が好きです。 (KADOKAWA/角川文庫)</p>	年 月 日
	<p>『文豪ストレイドッグス』シリーズ (朝霧カフカ 著/春河35 イラスト)</p> <p>話が面白いのはもちろん、文豪の名前を覚えられるので勉強に役立ちます。 (KADOKAWA/角川ビーンズ文庫)</p>	年 月 日
	<p>『また、同じ夢を見ていた』 (住野よる 著)</p> <p>それぞれの幸せをテーマにした物語です。人物の会話に引き込まれ、感動する一冊です。自分の選択に迷っている人におすすめします。 (双葉社)</p>	年 月 日
	<p>『夜間飛行』 (サン＝テグジュペリ 著/堀口大學 訳)</p> <p>今や当たり前前に夜空に航空機が飛び交うが、昔は命がけの任務であった。「夜間飛行」に命を燃やした男たちの物語です。 (新潮社)</p>	年 月 日
	<p>『ブレイブ・ストーリー』 (宮部みゆき 著)</p> <p>主人公が自分の家族に起こった出来事を変えるために、別世界へと冒険に行く話です。世界観がとても面白いです。 (KADOKAWA/角川文庫)</p>	年 月 日

他の本もホームページで紹介しています。ぜひ見てください。

こ よ ほん
子どもに読んでほしい本

ひょうし 表紙	『書名』 (作者等) / おすすめの言葉 (出版社)	よ 読んだ日
	『塩狩峠』 (三浦綾子 著) 高校時代に読み、生きる意味を考えさせられた一冊。実際の鉄道事故をもとに、自ら犠牲となって乗客を救った青年の生涯を描いた作品です。(新潮社)	年 月 日
	『舟を編む』 (三浦しをん 著) 辞書を作るという仕事をとおして、言葉の大切さ、奥深さに気づかされる本です。登場人物の仕事に対する情熱にも感動します。(光文社文庫)	年 月 日
	『生きるぼくら』 (原田マハ 著) 引きこもりだった主人公が、米作りや人との関わりの中で変わっていく姿に元気をもらいました。(徳間書店)	年 月 日
	『クスノキの番人』 (東野圭吾 著) 預ける、受け取る。親子の繋がりを改めて考えさせられた。ミステリーとはひと味違う、心が温まる東野作品を楽しめる一冊です。(実業之日本社)	年 月 日
	『坂の上の雲』 (司馬遼太郎 著) 明治時代に実在した俳人の正岡子規、軍人の秋山好古、真之兄弟の3人をモデルにした歴史小説。熱いです。(文春文庫)	年 月 日
	『そして、バトンは渡された』 (瀬尾まいこ 著) 2019年に本屋大賞を受賞。3人の父親と2人の母親という血の繋がらない親の間をリレー。現在は3人目の父親と共に暮らしています。(文藝春秋)	年 月 日
	『太陽の棘』 (原田マハ 著) 終戦後の沖縄で、絵画をとおして交流を深めていく地元の画家たちと米軍医師。心に響く、史実を基にした小説です。(文春文庫)	年 月 日
	『図書館の神様』 (瀬尾まいこ 著) これを読んで山本周五郎の「さぶ」に興味がわき、後日読みました。次の読書に繋がる内容に出会えるのはよい体験だと思います。(マガジンハウス)	年 月 日
	『世に棲む日日』 (司馬遼太郎 著) 幕末に生きた吉田松陰と高杉晋作を主人公にした歴史小説。彼らを突き動かしたものは!? (文春文庫)	年 月 日
	『流星の絆』 (東野圭吾 著) 両親を殺されて復讐を誓う3兄弟。3人の気持ちや犯人にたどり着くまでの物語に引き込まれます。高校生にも読みやすい本です。(講談社文庫)	年 月 日

ひょうし 表紙	『書名』 (作者等) / おすすめの言葉 (出版社)	よ 読んだ 日
	『52ヘルツのクジラたち』 (町田そのこ 著) だれ くる かな ひとひと だれ すく ひとひと すがた 誰かのせいで苦しみ、悲しむ人々。でも、誰かのおかげで救われる人々の姿 にたくさん泣きました。 (中央公論新社)	年 月 日
	『蒼穹の昂』 (浅田次郎 著) ちゅうごくしんおうちようじだい ごくひん しょうねん うちな し よげん う う いくた こんなん 中国の清王朝時代、極貧の少年が占い師の予言を受け、飢えと幾多の困難に もがきながらも女帝西太后に仕え、運命を切り開きます。 (講談社文庫)	年 月 日
	『下町ロケット』シリーズ (池井戸潤 著) ぎじゅつ みが ゆめ じつげん すがた はたら かんが 技術を磨いて夢を実現していく姿に、働くとはどういうことなのかを考えさ せられる本だと思いました。 (小学館)	年 月 日
	『オー・ヘンリー傑作集』 (オー・ヘンリー 著/越前敏弥 訳) けんじゃ おく もの さいご ひとは さくひん たんべん なが はなし 「賢者の贈り物」「最後の一葉」など作品のほとんどが短編で、長いお話が にがて ひと 苦手という人にもおすすめです。 (KADOKAWA/角川文庫)	年 月 日
	『十五の夏』 (佐藤優 著) わか そと せかい み かなら い こうこうせい 「若いうちに外の世界を見ておくと、あとでそれは必ず生きる。」高校生の かんせい くに ぶんか ふ 感性で、いろいろな国の文化に触れてほしいです。 (幻冬舎)	年 月 日
	『いきのびる魔法—いじめられている君へ—』 (西原理恵子 著) がっこう ころ い がわ 「学校なんて殺されに行かなくてもいいんだよ」と、いじめられている側に よ そ ないよう い ん たいせつ と 寄り添った内容で、「生き抜くこと」の大切さを解いています。 (小学館)	年 月 日
	『薬屋のひとりごと』 (日向夏 著) どくやくづく めいじん しゅじんこう ぐすり ちしき つか じけん かいけつ すいり 毒薬作りの名人である主人公が、薬の知識を使って事件を解決していく推理 しょうせつ 小説です。 (主婦の友社)	年 月 日
	『ウニはすごい バッタもすごい デザインの生物学』 (本川達雄 著) むずか たた で ぶんしょう おもしろ ひ こ 難しいことも多々出てくるのに文章が面白いのでどんどん引き込まれていき ます。読み終えると超絶物知り博士気分になれる本です。 (中央公論新社)	年 月 日
	『余命10年』 (小坂流加 著) よめい ねん かが じかん なか いっしょうけんめい い しゅじんこう こころ 余命10年と限られた時間の中で、一生懸命に生きる主人公に心ひかれまし た。この本を読み、命の大切さを改めて考えさせられました。 (文芸社)	年 月 日
	『アメリカの高校生が学んでいるお金の教科書』 (アンドリュー・O・スミス 著/ かね ふこう がくせい かね べんきょう 桜田直美 訳) お金で不幸にならないように学生のうちからお金の勉強をして ほしい。これからの世界を生きる上で役立つと思います。 (SB Creative)	年 月 日

ほか ほん も ホームページ で 紹介 して います。ぜひ 見て ください。

だれもが本に親しむために

いろいろな読書方法について

だれもが本に親しみ、読書ができるようにするために、いろいろな図書やサービスがあります。障がいや日本語を母語としないことなどから本を読むことが難しい場合などに参考にしてください。

【障がいのある子どもに向けて】

1	点字図書	視覚障がいのある利用者が、指先などによって触読できるよう、点字により表現された図書資料。
2	さわる絵本	視覚障がいのある利用者が、手でさわって鑑賞できるように製作された絵本。
3	ぬのえほん 布絵本	布などを使い、手芸の技法を用いて絵画的表現や立体表現を作りだした絵本。
4	録音図書 (DAISY)	文字で書かれた図書を音声化した図書。DAISYとは、Digital Accessible Information System (デジタル音声情報システム) の略称。
5	電子図書	コンピューターなどで読む電子の図書。
6	拡大図書	文字や図表を大きくした図書で、主に弱視の人たちの利用を想定して製作された本。
7	LLブック	知的障がい等により通常の活字図書の利用が困難な人向けに、図や写真を多く使うなどの工夫をした本。
8	対面朗読	視覚に障がいのある利用者等に、希望する資料を図書館(対面朗読室)などで朗読者(音訳者)が朗読(音訳)すること。
9	郵送サービス	利用者個人の元に図書を届けるサービス。

【日本語を母語としない子どもに向けて】

10	いろいろな言語でのおはなし会
----	----------------

「多言語絵本読み聞かせ」のようす→



読書を支援する機関について

「いろいろな読書方法について」で紹介した図書やサービスを中心に提供しているのが、神奈川県ライトセンター、インターネット図書館「サピエ」、神奈川県立地球市民かながわプラザ（あーすぷらざ）です。

神奈川県ライトセンター

神奈川県ライトセンターは、視覚障がい者を支援する施設で、点字や録音図書（DAISY）・雑誌などの製作や閲覧・貸出と、点訳・録音・対面朗読などの個別サービスを行っています。また、全国ネットの「サピエ」を活用した図書の相互貸借システムや郵送等による貸出サービスなども行っています。

【21ページの1～6、8、9に対応しています。】



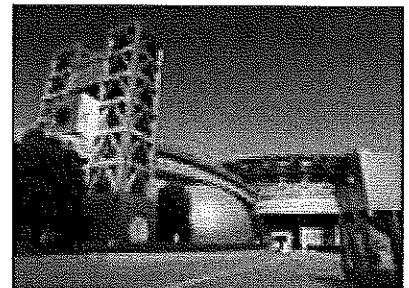
インターネット図書館「サピエ」

「サピエ」は、視覚障がい者及び視覚による表現の認識に障がいのある方々に対し、さまざまな情報を点字・音声データで提供するインターネット上の図書館です。サピエ図書館は、日本点字図書館がシステムを管理し、全国視覚障害者情報提供施設協会が運営を行っています。神奈川県内では、神奈川県ライトセンターを含め13の団体が登録しています。【21ページの主に1、4に対応しています。】

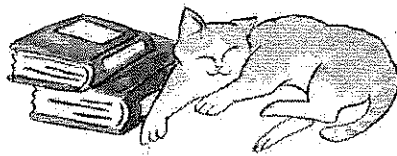
神奈川県立地球市民かながわプラザ（あーすぷらざ）

「あーすぷらざ」内にある、映像ライブラリーには、世界の文化や歴史にまつわる絵本や物語、環境問題や平和をテーマにした図書やDVD、外国語で書かれた絵本などをそろえた「こどもコーナー」があります。日本語と外国語で交互におはなしを読む「多言語絵本読み聞かせ」や、テーマに合わせた図書の特集展示を実施しています。また、情報フォーラムでは日本語学習教材を豊富に揃え、子どもと保護者が手に取って見られる環境を提供しています。

【21ページの10に対応しています。】



「いろいろな読書方法について」で紹介した図書やサービスは、市町村立図書館で提供していることもあります。



「かながわ 子どものためのブックリスト」

発行 神奈川県教育委員会教育局生涯学習部生涯学習課
〒231-8588 横浜市中区日本大通1 電話 (045) 210-8347 (直通)

<イラスト>表紙：神奈川県立図書館 伊津美 泉／裏表紙：北見 美佳